

符号と計算のルール

たし算

絶対値 = 0からの距離

- ① 同じ符号のたし算 絶対値をたして、同じ符号をつける。

$$(+3) + (+5) = +8 \quad (-3) + (-5) = -8$$

- ② 異なる符号のたし算 絶対値の大きい方から小さい方をひき、絶対値が大きい方の符号をつける。

$$(+7) + (-3) = +4 \quad (-8) + (+5) = -3$$

- ③ 絶対値が同じとき 絶対値が同じなら、答えは 0。

$$(+6) + (-6) = 0$$

ひき算

ひき算は、ひく数の符号を反対にして、たし算に直す。

$$\begin{aligned} 4 - (-3) \\ = 4 + (+3) \\ = 7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} -2 - (+5) \\ = -2 + (-5) \\ = -7 \end{aligned}$$

$$a - b = a + (-b)$$

かけ算・わり算

符号の早見表

＋ と ＋	＋
－ と －	＋
＋ と －	－
－ と ＋	－

同じ符号なら＋、ちがう符号なら－

$$(-4) \times (-3) = 12$$

$$(-12) \div (+3) = -4$$

0のルール

- どんな数も、0をかけると0
- $0 \div \text{数} = 0$ (わる数は0以外)
- 0でわることはできない

